

2022年度第4回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ フェニックス賞

フェニックス (Phoenix) は、ヤシ科の植物。外来種であり、南九州地区に多く見られる。また、エジプト神話の不死鳥のこと。アラビアの砂漠に住み、500年に一度、自ら火中に入って焼かれ、その灰の中から幼鳥の姿となって再生するなどの言い伝えがある。

○ 柳川特別

柳川 (やながわ) は、福岡県南西部にある市。有明海に臨み、筑後川と矢部川に挟まれた三角州に位置する。クリーク網が発達し、水郷として有名。また、有明海岸には雄大な干拓地が広がっている。詩人・北原白秋の生地として知られ、詩碑「帰去来」がある。

○ 阿蘇ステークス

阿蘇 (あそ) は、熊本県北東部、阿蘇地域の中央部に位置する市。同地域にある阿蘇山は、世界最大級の複式活火山。中央には高岳をはじめとする阿蘇五岳がそびえ、世界でも有数な規模のカルデラを形成している。温泉やキャンプ場などが多数存在し、観光地として人気がある。

<第2日>

○ 筑紫特別

筑紫 (ちくし) は、九州の古称。「つくし」ともいう。筑前国、筑後国を中心とする北九州を指す場合や、九州全体を指す場合などがある。

○ 不知火ステークス

不知火 (しらぬい) は、夜間の海上に多くの光が点在し、揺らめいて見える現象。蜃気楼の一種。干潟の冷えた水面と大気との間にできる温度差によって、漁火が無数の影像をつくる異常屈折現象とする説が有力。八代海や有明海は、不知火の名所として知られる。

○ サマー2000シリーズ農林水産省賞典小倉記念 (GⅢ)

全5戦で実施されるサマー2000シリーズの第3戦。

同競走は、昭和40年に創設された重賞競走。当初は2,000mのハンデキャップ戦であったが、平成7年に別定重量戦へ変更された。12年から再びハンデキャップ戦となり、現在に至る。

○ 八女特別

八女（やめ）は、福岡県南西部にある市。八女地区の恵まれた風土と技術で生産される八女茶は、高級茶として全国で愛されている。また仏壇・ちょうちん・和紙・竹製品などの農村副業的工業が盛ん。

<第3日>

○ 足立山特別

足立山（あだちやま）は、北九州市小倉北区と小倉南区の境に位置する山。和気清麻呂が足を負傷した際、同山の麓にある温泉に入ったところ快癒し、「立たなかった足が立った」という伝説からこの名前がついたと言われている。また、霧の発生が多いことから別名霧ヶ岳とも呼ばれる。

○ 宮崎特別

宮崎（みやざき）は、九州南東部の県。マンゴーや日向夏など、南国の温暖な気候を利用した農産物が有名。また、同県南東部の市。同市は、JRA の競走馬育成施設である宮崎育成牧場の所在地であり、育成された競走馬は主に JRA ブリーズアップセールで売却され、JRA 育成馬としてデビューする。

牧場内には JRA の場外勝馬投票券発売所であるウインズ宮崎がある。

○ タイキシャトル追悼競走 別府ステークス

本競走は、去る 8 月 17 日（水）に死亡したタイキシャトル号の生前の功績を称えて追悼競走として実施される。

別府（べっふ）は、大分県中部、別府湾奥にある市。別府八湯を中心に発展した温泉地として有名。温泉熱を利用した研究所・療養所・保養所などの施設が集中している。

<第4日>

○ 耶馬溪特別

耶馬溪（やばけい）は、大分県を流れる山国川、駅館川などが台地を刻んでできた溪谷。日本三大奇勝や日本新三景として有名。岩石美・森林美・溪流美が揃い、それらの調和が素晴らしい名勝の地。菊池寛の小説『恩讐の彼方に』の舞台として有名な青の洞門がある。

○ 薩摩ステークス

薩摩（さつま）は、西海道に位置する旧国名。現在の鹿児島県の西半分にあたる。鎌倉時代以降は島津氏の統治下にあった。三方を海に囲まれた環境であることから古来より貿易が盛んで、海外文物の流入地ともなっていた。

○ サマースプリントシリーズテレビ西日本賞北九州記念（GⅢ）

全6戦で実施されるサマースプリントシリーズの第4戦。

本競走は、昭和41年に創設された重賞競走。当初は2,000mのハンデキャップ戦であったが、44年に距離短縮されて1,800mとなり、47年に別定重量戦へ変更された。平成18年から1,200mのハンデキャップ戦となり、現在に至る。

テレビ西日本は、福岡市に本社を置く放送局。昭和33年開局で、FNS（フジテレビ）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第5日>

○ 小倉サマージャンプ（J・GⅢ）

本競走は、平成11年に創設された障害重賞競走。正面中央の竹柵障害は、120cm・130cm・140cmの3段階に高さが可変する上下動式障害で、本競走は高さ140cmを使用して行われる。

○ ひまわり賞

ひまわり（向日葵）は、北アメリカ原産のキク科の一年草。夏には、周囲が鮮黄色、中央が褐色の大きな頭状花を横向きに咲かせる。花言葉は「あこがれ」「熱愛」。

本競走は、釜山慶南競馬公園馬主協会より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 西海賞

西海（さいかい）は、西方の海、特に瀬戸内海または九州の海を指す呼称。また、長崎県中部、西彼杵半島北部にある市。同市では崎戸春エビやゆでぼし大根が名産。同市と佐世保市を結ぶ西海橋は、昭和30年に日本初の有料道路橋として開通し、45年に無料化されて以降、現在も幹線道路として利用されている。

○ 釜山ステークス

釜山（ぷさん）は、大韓民国南東部に位置する広域市。国内第二の都市として政治・経済・文化面で重要な役割を担っている。日本との関係も深く、小倉競馬場と釜山競馬場は2009年から姉妹競馬場として提携している。

<第6日>

○ 英彦山特別

英彦山（ひこさん）は、福岡県と大分県の県境にある奇石、奇峰に富む火山群の主峰。標高1,199m。北岳・中岳・南岳の三峰からなり、中岳に英彦山神宮がある。山中には、国の重要文化財に指定されている奉幣殿（ほうへいでん）や銅鳥居（かねのとりい）、国の天然記念物に指定されている鬼杉がある。

○ RKB賞

RKBは、福岡市に本社を置くRKB毎日放送の略称。昭和26年開局で、JNN（TBS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 小倉日経オープン

日経は、東京と大阪に本社を置く日本経済新聞社が発行する日本経済新聞の略称。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第7日>

○ 筑後川特別

筑後川（ちくごがわ）は、熊本・大分・佐賀・福岡の4県を流れる1級河川。全長は143kmで九州一の長さを誇る。九重連山に源を発する玖珠川と阿蘇山に源を発する大山川が、日田盆地で合流して三隈川となり、福岡県に入って筑後川となる。流域沿いには温泉や景勝地が多数存在し、九酔溪や日田温泉が有名。

○ 天草特別

天草（あまくさ）は、天草諸島にある市。また、同諸島の略称。天草諸島は、熊本県宇土半島の南西にある島々。上島、下島を主島とする120余の島からなり、地理上は鹿児島県の長島なども含まれる。温暖な気候で、一年を通してイルカウォッチングが楽しめる。

○ テレQ杯

テレQは、北九州市と福岡市に本社を置くTVQ九州放送の愛称。平成3年開局で、TXN（テレビ東京）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第8日>

○ 宗像特別

宗像（むなかた）は、福岡県北部に位置する市。同市にある宗像大社は、隣市である福津

市の「新原・奴山古墳群」と共に、ユネスコ世界文化遺産である『「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群』を構成している。

○ 西日本スポーツ杯

西日本スポーツは、福岡市に本社を置く西日本新聞社が発行するスポーツ紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

○ 小倉2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和56年に創設された重賞競走。平成12年までは『小倉3歳ステークス』として実施されていたが、13年の馬齢表記の国際基準化に伴い、現在の名称に改められた。創設当初から1,200mで実施され、夏の小倉開催のフィナーレを飾る競走として定着している。